

2018年日本建築学会教育賞受賞事業

賞金総額
100万円

設計せよ。

機能的な消防屯所を

地域の行動変容を促す、

Think a Brand-new
“Local fire department”

**ひろしま建築学生
チャレンジコンペ**

2022
@みはら
広島県三原市

実施要領

共催



広島県



三原市

協賛



総合資格学院



大旗連合建築設計株式会社
OH-HATA ARCHITECTS & PARTNERS



株式会社テクシード
RE:FACTORY



まちづくり三原

TOTO

建築学生のみなさんへのメッセージ
～本設計コンペ実施にあたって～

日本は震災や豪雨など災害が多い国です。私自身も1995年の阪神淡路大震災で被災しましたが、自衛隊や消防隊の皆さんの尽力はもちろん、地域の方々同士の協力があって復興に向かっていきました。

本設計コンペは消防屯所ですが、震災のような大きな災害でなくても、地域を守っていく非常に大切な拠点となります。皆さんは消防団員が日頃どのような活動をされているか知っているでしょうか。よく知らない人も多いと思います。知らないということが一つの問題です。どうすれば消防団員の方々の活動を地域の方々に知ってもらい、地域における人と人の繋がりをつくれるでしょうか。消防屯所は、機能的でなくてはなりません。そしてそこに集まる消防団員の方々はもちろん、そこを訪れる方々にも喜んでもらえるものでなくてはなりません。建築の果たす役割は非常に大きなものです。

学生の皆さんの素晴らしいアイデアをお待ちしています。



審査委員長 家成 俊勝/ドットアーキテクト

目 次

1	趣旨	・・・P	1
2	対象建築物	・・・P	1
3	テーマ	・・・P	3
4	審査基準及び方法	・・・P	3
5	賞及び賞金等	・・・P	4
6	日程	・・・P	4
7	審査委員会	・・・P	4
8	問合せ先	・・・P	4
9	設計条件等	・・・P	6
10	参加者の資格	・・・P	9
11	手続き等	・・・P	9
12	一次審査	・・・P	11
13	最終審査（二次審査）	・・・P	11
14	計画地現場調査	・・・P	12
15	実施要領に関する質問の受付及び回答	・・・P	12
16	最優秀作品の取扱い	・・・P	13
17	その他の留意事項	・・・P	13
・	（様式1）作品提出届	・・・P	15
・	（参 考）案内図・図面・現地写真他	・・・P	16

1 趣旨

この設計コンペは、魅力ある建築物が県内に持続的に創造されていく環境づくりに向け、クリエイティブな人材の育成を目的に広島県が取り組んでいる設計コンペです。令和4年度は、三原市の公共建築物を題材として三原市と広島県の共催で実施するものです。これまでのひろしま建築学生チャレンジコンペと同様に、人材育成の一環として、建築学生を対象に、公共建築物の設計コンペを行います。

また、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品の提案者は、担当教授等の指導の下、三原市による実施設計及び工事監理を監修し、提案の実現に取り組んでいただきます。

2 対象建築物

- ・三原中央方面隊消防屯所（広島県三原市宮沖三丁目）
- ・地域防災力の充実強化をめざし、消防団組織・施設の再編と共に下記に示す5か所の消防屯所を計画地に統合集約し建築する計画です。

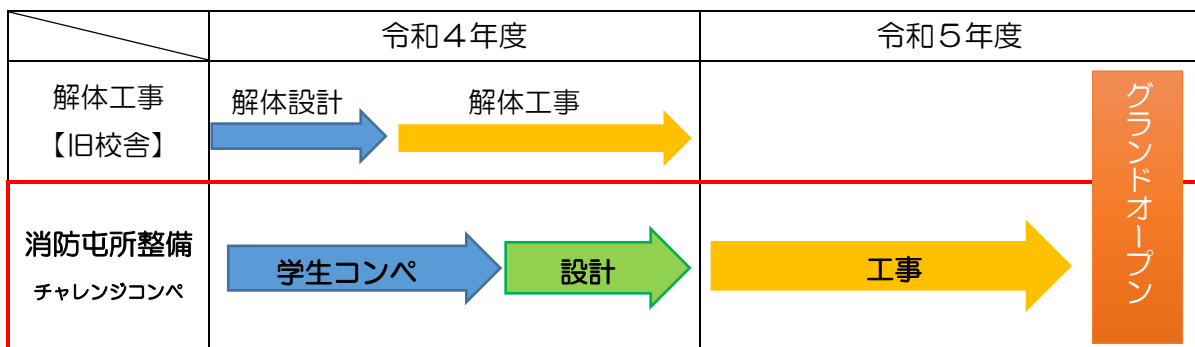
（消防屯所とは）

消防屯所は消防団の詰所で、消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ積載車、消防機材を格納し、災害発生時には消防団の活動拠点となり、団員が待機しながら出動準備を行う施設です。

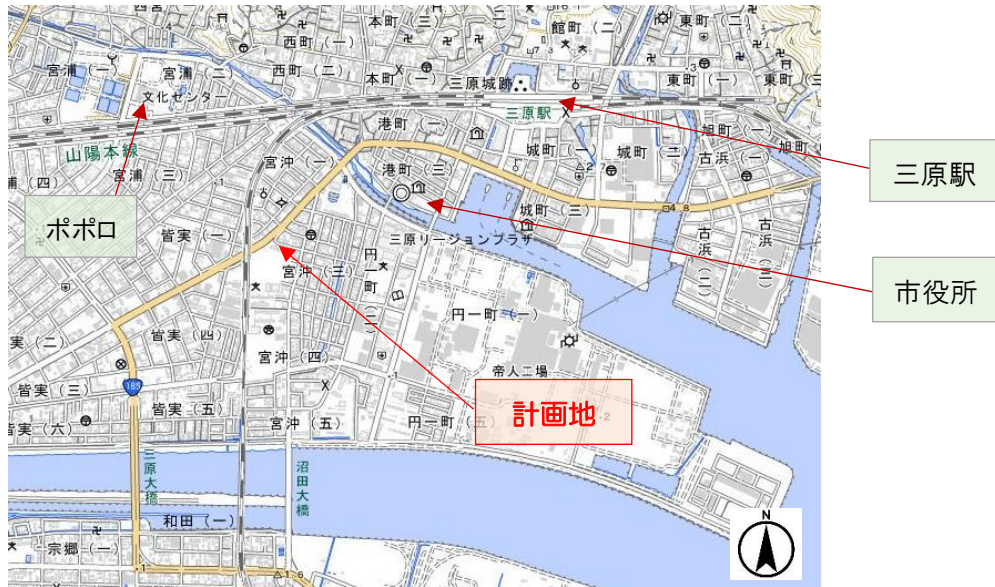
再編対象屯所

名称	所在地	構造	床面積	建築年
中部分団屯所	本町一丁目	木造2階建て	93.63㎡	昭和45年
東部分団	東町二丁目	木造・CB造平屋建て	67.54㎡	昭和30年
西部分団	宮浦二丁目	木造2階建て	51.47㎡	昭和62年
南部分団	皆実五丁目	木造平屋建て	59.80㎡	平成元年
西野分団	西野二丁目	木造平屋建て	42.00㎡	平成11年

スケジュール



付近見取図



出典: 国土地理院撮影の空中写真(2018年撮影)を一部編集

位置図



出典: 国土地理院撮影の空中写真(2018年撮影)を一部編集

3 テーマ

「地域の行動変容を促す、機能的な消防屯所を設計せよ」

消防屯所が統合され、新たに生まれ変わろうとしています。

消防団は、地域を守る重要な役割を担っていますが、現在、消防団員の減少が地域の大きな課題となっています。

少子高齢化社会のいま、これまで地域の人たちを守ってきた消防団の「これから」を考えながら、統合される新たな消防屯所を設計してもらいたいのです。

みなさんの考える「これから」の消防屯所は、どのように地域と繋がり、どのように地域を守り、どのように地域に愛されていくのでしょうか？

これらを踏まえ、地域の行動変容を促すきっかけとなる、機能的な消防屯所を設計してください。

4 審査基準及び方法

(1) 審査基準

本設計コンペの選考は、「3 テーマ」を中心に、「9 設計条件等」に基づき、デザイン、使いやすさ、維持管理及びライフサイクルコストへの配慮などを勘案し、総合的な観点から審査を行います。

実際に建設する実施コンペであるため、実現性を有していることは重要です。

(2) 審査方法

審査は2段階選抜方式とします。

「7 審査委員会」に記載する審査委員会が審査を行い、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点、審査委員長特別賞作品等数点を選定します。

ア 一次審査

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定し、審査委員長特別賞作品数点を決定します。

詳細は、「12 一次審査」をご覧ください。

イ 最終審査（二次審査）

最終審査（二次審査）は公開審査とし、提案者本人によるプレゼンテーション及び質疑応答により、提案の内容と実現性等を審査し、入選案の中から最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

詳細は、「13 最終審査（二次審査）」をご覧ください。

5 賞及び賞金等

最優秀作品賞受賞者等には賞金等を授与する予定です。

賞	賞金等
最優秀作品賞 1点	賞金70万円, 賞状, トロフィー
優秀作品賞 2点	賞金10万円, 賞状, トロフィー
入選作品賞 2点	賞金5万円, 賞状
審査委員長特別賞等 数点	賞状

※賞金は協賛企業から授与されます。

6 日程

区分	日程
実施要領配布開始日	令和4年7月2日(土)
応募登録申込受付期間	令和4年7月2日(土)～令和4年9月9日(金)
質疑受付期間	令和4年7月2日(土)～令和4年8月12日(金)
提案作品受付期間	令和4年9月9日(金)～令和4年9月15日(木)
一次審査結果発表	令和4年10月上旬
最終審査(二次審査)及び審査結果発表・表彰式	令和4年11月12日(土)

7 審査委員会

本設計コンペの審査は、次の「ひろしま建築学生チャレンジコンペ2022@みはら審査委員会」が行います。

区分	氏名	所属等
審査委員長	いえなり 家成 <small>としかつ</small> 俊勝	建築家 dot architects 主宰, 京都芸術大学 教授
審査委員	どい 土井 <small>わたる</small> 巨	建築家 dot architects
	なりた 成田 <small>かずひろ</small> 和弘	建築家 kufu 共同主宰
	おかだ 岡田 <small>よしひろ</small> 吉弘	三原市長
	まとば 的場 <small>ひろあき</small> 弘明	広島県土木建築局総括官(建築技術)

8 問合せ先

事務手続き窓口 広島県営繕課営繕企画グループ
 住所 広島市中区基町10-52
 電話 (082)513-2311
 FAX (082)224-6411
 電子メール doeizen@pref.hiroshima.lg.jp

※本設計コンペに関する問い合わせは「8 問合せ先」に行うこととし、施設管理者等に直接問い合わせることは厳に禁止します。

◆本実施要領及び様式のダウンロード先URL：

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/miryoku/>

広島県 HP 内 ひろしま建築学生チャレンジコンペのホームページ（以下「県HP」という）

9 設計条件等

(1) 計画敷地条件

ア 所在地	広島県三原市宮沖三丁目 313 外（第三中学校の敷地の一部）		
イ 敷地面積	1,571.75 m ²	（①1297.19 m ² , ②274.56 m ² ）	
ウ 区域区分	都市計画区域内	市街化区域	建築基準法第 22 条区域
エ 用途地域	①第一種住居地域, ②近隣商業地域		
オ 建蔽率	① 60%	②80%	
カ 容積率	① 200%	②300%	
キ 地区計画	なし		
ク 都市設備	上水道：あり	下水道：あり	ガス：プロパンガス 電気：中国電力

(2) 設計与条件

ア 建物概要 消防屯所を新築します。

名称	構造・規模	
消防屯所	構造	鉄筋コンクリート造, 鉄骨造または木造
	床面積	約 300 m ²
	階数	平屋建て

イ 工事費：8,000万円以下（税込み） なお、税率は 10%を見込んでいます。

※ 上記工事費内で、実現可能な提案としてください。なお、工事費には建築工事費・電気設備工事費・機械設備工事費を含みます。※外構工事費は含みません。

※ 工事費の積算は、公共建築工事積算基準を参考としてください。なお、工事費には、直接工事費の他、共通仮設費や現場管理費などの共通費が含まれます。

ウ 所要室

区分	概要・規模	
待機室	20 m ² ×5 室・分団	約 100 m ²
車庫	5 台	約 150 m ²
資機材収納庫		約 10 m ²
便所	(男子) 4 m ² 大便器 1, 小便器 1, 洗面器 1 (女子) 2 m ² 大便器 1, 洗面器 1	約 6 m ²
更衣室	2 m ² ×2 室	約 4 m ²
台所	ミニキッチン（冷蔵庫スペース含む）	約 2 m ²
倉庫	防災用品備蓄スペース	約 30 m ²
合計		約 302 m ²

エ 収容車両（5台）

種 別	寸法（幅×長さ×高さ）（m）	総重量（t）	台数
ポンプ車	1.88×5.22×2.35	4.25	1
積載車	1.69×4.85×2.22	3.39	1
積載車	1.73×4.56×2.25	2.57	1
積載車	1.69×4.85×2.22	3.37	1
積載車	1.68×5.02×2.26	3.17	1

※車庫開口部の有効高さは 3m以上としてください。

オ 留意事項

【内部計画について】

- ・待機室から車庫までの動線は最短となるよう計画してください。
- ・待機室5室は一体利用も可能となるよう計画してください。
- ・車両の出動は、車庫から敷地出入口まで安全かつ最短距離で行えるよう計画してください。
- ・新型コロナウイルス感染症等の対策として、廊下及び便所等の照明器具は人感センサー及びタイマー付としてください。また、手洗い器については自動水栓としてください。

【外部計画について】

- ・敷地の造成等、形状変更は行いません。現状の敷地の形状を活かした提案としてください。
- ・屯所の位置は、計画地内（旧校舎跡地）に配置してください。また、屯所計画地内には、駐車スペース（約30台）、消火用ホース乾燥柱、屋外照明を設けますので、配慮して計画してください。これらは予定工事費に含みません。

【脱炭素社会の実現にむけて】

- ・脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現をめざし、建物のエネルギー消費量を最大限削減する計画としてください。
- ・エネルギー負荷の抑制や自然エネルギーの活用、高効率な設備システムの採用により室内環境の室を維持しつつ省エネルギー化に努めてください。
- ・断熱、日射遮蔽、自然換気、昼光利用といった建築計画的な手法を最大限に活用してください。

【その他】

- ・建築基準法第22条区域のため、屋根は不燃材としてください。
- ・建築基準法及び関係法令に留意して計画してください。
- ・維持管理費が過大とならないように計画してください。

(3) ローコストへの配慮について

コストを抑えた中で、魅力的な屯所を提案してください。ただし、提案作品が、創造性豊かであったとしても、審査委員会において、コストオーバーすることが懸念された場合には、選定できませんので、担当教授等と十分に検討し、「(2)イ」に記載の予定工事費内で実現可能な提案となるよう留意してください。実施コンペのため、公共施設の積算基準の内容等について担当教授等の指示を仰ぐなど、ローコストへの配慮をお願いします。

近年、公共事業の予算の縮減が進み、事業に対する費用対効果についても強く求められています。このような状況の中、今回の屯所工事は必要最小限の予算となっています。

コストと建物の魅力をどのようにして両立させるか、ハードのみならずソフト面からも様々な工夫やアイデアを提案してください。

(4) 建築物の計画に関する配慮

一般的に建築物に求められる次の各項目について、明らかに配慮に欠けるものは選考に影響しますので留意してください。

ア ライフサイクルコストへの配慮

コストと耐久性の両面から工夫し、工事費や維持管理費等のライフサイクルコストの低減に配慮すること。「(2)イ」記載の工事費以下とすること。

イ ユニバーサルデザインへの配慮

誰もが使いやすく、快適に利用できること。

ウ 効率的な維持管理への配慮

清潔に保ちやすく、清掃・補修等が容易なこと。

エ 機能性の配慮

消防活動と緊急時の出動に配慮した機能的な施設であること。

オ 周辺環境への配慮

周辺の住宅・学校施設等に対し、敷地内の動線安全性や周辺の景観に調和した施設であること。

カ 発信性

消防団活動を理解してもらえる施設であること。

キ 脱炭素化への配慮

建物のエネルギー消費量を抑制する施設であること。

(5) その他の条件

検討にあたっては、上記(1)～(4)に留意してください。

なお、本設計コンペにおいて選定された最優秀作品は実際に建設するため、優れた提案であることと同時に特にコスト、構造、施工性について、実現性を有していることが求められます。

10 参加者の資格

日本国内の大学，大学院，短期大学，高等専門学校（本科4年・5年，専攻科），専修学校（専門課程），各種学校の建築関連学科に在籍する学生であること。

上記の学生により構成されたグループによる応募も可とします。なお，同一の学校の学生によるグループに加え，複数の学校の学生により構成されたグループも可とします。

※ 令和4年7月2日現在，在籍中であること。

※ 建築関連学科とは，建築学科，インテリアデザイン学科など，建築設計に関する授業を行っている学科を指します。

11 手続き等

(1) 応募登録・登録番号

本設計コンペに応募しようとする者は，県HPにある応募登録フォームにより応募登録してください。

事務局は，応募登録の受け付け後，登録内容を確認し，登録番号を交付します。登録番号は，郵送により応募登録者（代表者）へ通知します。

◆ 応募登録フォームURL

https://s-kantan.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10272



応募登録フォーム
QRコード

ア 応募登録の受付期間

令和4年7月2日（土）から令和4年9月9日（金）まで

イ 担当教授等の承諾

最優秀作品に選定された提案者は，担当教授等の指導の下，実施設計及び工事監理を監修していただきます。そのため，応募登録にあたっては，あらかじめ，担当教授等に承諾を得た上で，応募してください。

ウ 担当教授等の条件

担当教授等とは，提案者の所属学校に勤務する担当教員や教授等とし非常勤講師等は除きます。実施コンペであるため，担当教授等は，建築設計を十分に理解され，実施設計にあたっては，提案作品の実現に向けて提案者に対して十分に設計指導ができることを条件とします。
（実施設計の経験があり，構造計画及びコスト管理のできる方またはこれと同等の方）

(2) 提案作品の提出

提案作品の提出は，次のとおり行ってください。

なお，応募登録者1者（又は1グループ）は1つの提案作品を提出することができます。

ア 提案作品の受付期間（締切日）

令和4年9月9日（金）から令和4年9月15日（木）まで（必着）

イ 提出する図書（提案図書）

提出図書	記載内容等	部数
<p>① 提案書</p> <ul style="list-style-type: none"> • A1用紙 • 片面横使い • 1枚 	<p>提案書には次の内容を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設計趣旨 （「3 テーマ」「9 設計条件等」に照らし合わせて配慮した要旨） • 外観スケッチなど設計意図のわかるもの • 配置図（平面図兼用可，縮尺自由） • 平面図（縮尺自由） • 立面図（縮尺自由） • 断面図（縮尺自由） • 面積表 • 登録番号 <p>提案書には，用紙右上（用紙の端から概ね縦2cm×横5cmの範囲内）に，事務局から交付された登録番号を24ポイント以上で記載してください。</p> <p>※審査過程で応募登録者の匿名性を確保する必要があることから，提案書には応募登録者が特定できる事項等を記入することはできません。応募登録者が特定できる事項等が記入されていた場合には，提案作品を受け付けできませんのでご了承ください。</p>	<p>1部</p>
<p>② 作品提出届</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 様式1 <p>県HPから様式をダウンロードし，必要事項を記入してください。</p>	<p>1部</p>
<p>③ 電子データ（CD等）</p>	<p>①提案書，②作品提出届</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子データは，CD等に保存し提出してください。 • データ形式は，次のとおりとしてください。 <p>①提案書はJPEGとPDFの両方 ②作品提出届は，PDF</p> <p>データ容量は，それぞれ10MB以下としてください。</p>	<p>1部</p>

ウ 注意事項

- 提案書を手書き等で制作した後，カメラ等で撮影した写真を電子データとして提出する場合には，印刷等の使用に耐えられる解像度となるよう鮮明な画像としてください。
- 提案図書は返却しませんので，必要に応じて事前に複製しておいてください。
- 電子データ等は，審査結果，審査過程及び講評等で使用します。
- 毎年，電子データが破損した状態で提出されるケースが頻発しており，審査上支障が出ています。保存したデータが破損していないか必ず確認してください。

エ 提出場所及び提出方法

作品提出先 三原市消防本部警防課 住所 〒723-0051 広島県三原市宮浦一丁目22番2号
--

※ 提出先は広島県ではなく三原市（消防本部）となりますので間違いのないようお気を付けてください。

提出に要する費用は提出者の負担となります。

持参される場合は、期間内の月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）の9時から17時までとします。

※ 郵送の場合は、9月15日（木）17時必着とします。

※ 電子メールによる提出はできません。

12 一次審査

（1）審査の方法

一次審査は匿名非公開で提案作品を審査し、入選案を5点程度選定し、審査委員長特別賞等を数点決定します。

（2）審査の基準

「4（1）審査基準」のとおりです。

（3）一次審査結果の発表方法

一次審査結果は、10月上旬に県HP上で発表します。また、一次審査を通過した提案者には直接通知するとともに、最終審査（二次審査）の案内を併せて行います。

なお、審査委員長特別賞の方には表彰式への案内を通知します。

13 最終審査（二次審査）

（1）審査の方法

最終審査（二次審査）は公開審査とし提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により、提案の内容及び実現性等を審査し、最優秀作品1点、優秀作品2点、入選作品2点を決定します。

（2）審査日程及び審査会場（予定）

審査日程： 令和4年11月12日（土）12時から18時まで

審査会場： 三原市芸術文化センター ポポロ ホール

（広島県三原市宮浦二丁目1番1号）

（3）審査の基準

「4（1）審査基準」のとおりです。

(4) ヒアリングの実施

- ・ヒアリングは、提案者本人によるプレゼンテーションと審査委員による質疑応答により行います。
- ・プレゼンテーションの方法は、発表時間 20 分以内（質疑応答 10 分含む）で、提案書による説明のほか、模型等を作成し、これらを用いた効果的な説明を行ってください。また、パソコンとプレゼンテーションソフトを使用した説明も可能とし、プロジェクターとスクリーンは会場に準備します。詳細は、一次審査を通過した提案者に通知します。
- ・最終審査（二次審査）を辞退または欠席した場合は、棄権として取り扱い、審査の対象から除外します。

(5) 最終審査（二次審査）結果の発表方法

- ・最終審査（二次審査）の審査結果は、当日会場にて発表し、併せて表彰を行います。
- ・後日、審査結果、審査過程及び講評を県HP上で公表します。

14 計画地現場調査

計画地は、敷地南側の第三中学校敷地内にあり、以下の日程で実施する見学会のみ敷地内の見学が可能です。希望する場合は、見学フォーム URL から申し込みしてください。また、中学校の運営状況により見学できない場合がありますのでご了承ください。なお、中学校には直接連絡しないでください。

解体工事の予定がありますので、工事範囲には近づかないでください。

■計画地見学会

日時：令和4年7月30日(土) 10:00～ (30分程度)

場所：広島県三原市宮沖三丁目 313 外(計画地現地集合)

◆見学フォームURL：

https://s-kantan.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10311



現地見学会QRコード

15 実施要領に関する質問の受付及び回答

(1) 質問の受付

県HPの質問フォームにより質問をしてください。

◆質問フォームURL：

https://s-kantan.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10313

(2) 質問の受付期間

令和4年8月12日(金)まで



質問フォームQRコード

(3) 質問に対する回答

- ・質問に対する回答は、順次、県HP上に掲載します。
- ・なお、最終回答は令和4年8月19日（金）までに県HP上に掲載します。

※ 回答した内容によっては、実施要領を修正する場合があります。

設計条件に関する修正や追加が想定されるため、随時県HPでご確認ください。

16 最優秀作品の取扱い

(1) 三原市は、最優秀作品を基に、実施設計を行います。

実施設計は、市が別に設計事務所を選定し、実施設計業務として委託します。

(2) 最優秀作品の提案者は、担当教授等の指導の下、実施設計及び工事監理の監修をしていただきます。監修方法は電子メール等による打合せを基本としますが、必要に応じて現地打ち合わせを行います。なお、監修に必要な旅費等は、提案者の負担となります。

(3) 担当教授等には、最優秀作品の提案者を指導する報償として、市の規定に基づく監修費等をお支払いします。

(4) 審査委員からの助言等により、修正等がある場合、最優秀作品の提案者は、提案書の内容を基本設計書として編集し直し、令和4年11月下旬までに三原市都市部建築課に提出していただきますのでご了承ください。

(5) 最優秀作品は、提案書及び実施設計や工事監理の監修状況の風景を市HP、県HP等で広く情報発信していく予定としておりますのでご了承ください。

17 その他の留意事項

(1) 応募登録後、審査結果の公表の日までの間に、応募登録者（提案者）が次の各号のいずれかに該当したときは応募登録を取り消します。

ア 提案作品提出期限に遅れた者又は提案図書に不備がある者

イ 応募登録内容及び提案図書に虚偽の記載をした者

ウ その他、審査委員会が不適格と判断した者

(2) 本設計コンペに係る登録料は無料ですが、応募登録、質疑及び提案作品の提出、最終審査（二次審査）等に関する費用は応募登録者の負担とします。

(3) この要領に定める手続きを郵送若しくは電子メールにより行う場合は、必ず主催者への到達を確認してください。提案作品を持参する場合は、期間内の月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）の9時から17時まで受け付けます。

（ 申込先・問い合わせ先：広島県営繕課営繕企画グループ	電話 (082)513-2311
（ 作品の提出先：三原市消防本部警防課	電話 (0848)64-5924

(4) 提案作品等は一切返却できません。

(5) 提出された提案図書の著作権は、その提案者に帰属することとします。なお、最優秀作品の使用権は三原市が無償で譲り受けます。

(6) 提案図書は、選定に必要な範囲において複製することがあります。

(7) 提案図書及び審査過程は、県HP等に掲載し公表する予定です。

(8) 他者の著作権に抵触する画像、文書などの使用は認めません。また、雑誌、書籍、ホームページ等からの無断借用も認めません。

一次審査通過後に著作権侵害などの疑義が発覚した場合、応募登録を取り消します。また、提出作品について著作権侵害等が発覚した場合、全ての責任は提案者が負うものとなります。その他最優秀作品の提案者としてふさわしくないことが発覚した場合、三原市は、審査委員会と協議の上、優秀作品賞の案を採用することがあります。

(9) 本設計コンペの応募登録に際して記入された氏名・住所・所属等の個人情報は、統計的な応募集計に利用し、当関係者以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。

ただし、提案者に関しては、提案作品とともに、氏名・所属を市HP、県HPやマスコミリリース等で広く公表することとしておりますのでご了承ください。

(10) 施設管理者へ電話等により直接問い合わせることは厳に禁止します。

(11) 実際に建築する際には、最優秀作品の提案趣旨を十分に尊重して実施設計・工事監理を行います。が、法規上及び予算上等の理由により、協議の上、提案内容を一部変更する場合がありますのでご了承ください。

(12) 今後の社会情勢や財政事情の変化、その他不可抗力等により、事業計画の変更又は中止をする場合があります。この場合、本設計コンペの応募登録者（提案者）に対して主催者は一切の責任を負わないものとします。

(13) この要領に定めることのほか、本設計コンペを行うために必要な事項が生じた場合は、主催者が本設計コンペ審査委員会と協議の上、これを定め、応募登録者（提案者）に通知します。

(14) 最終審査（二次審査）会場等で、協賛企業によるアンケートやチラシの配布等が行われる予定ですのでご承知おきください。

(様式1)

ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2022@みはら 作品提出届

三原市長様

「ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2022@みはら実施要領」に基づき、提案作品を提出します。

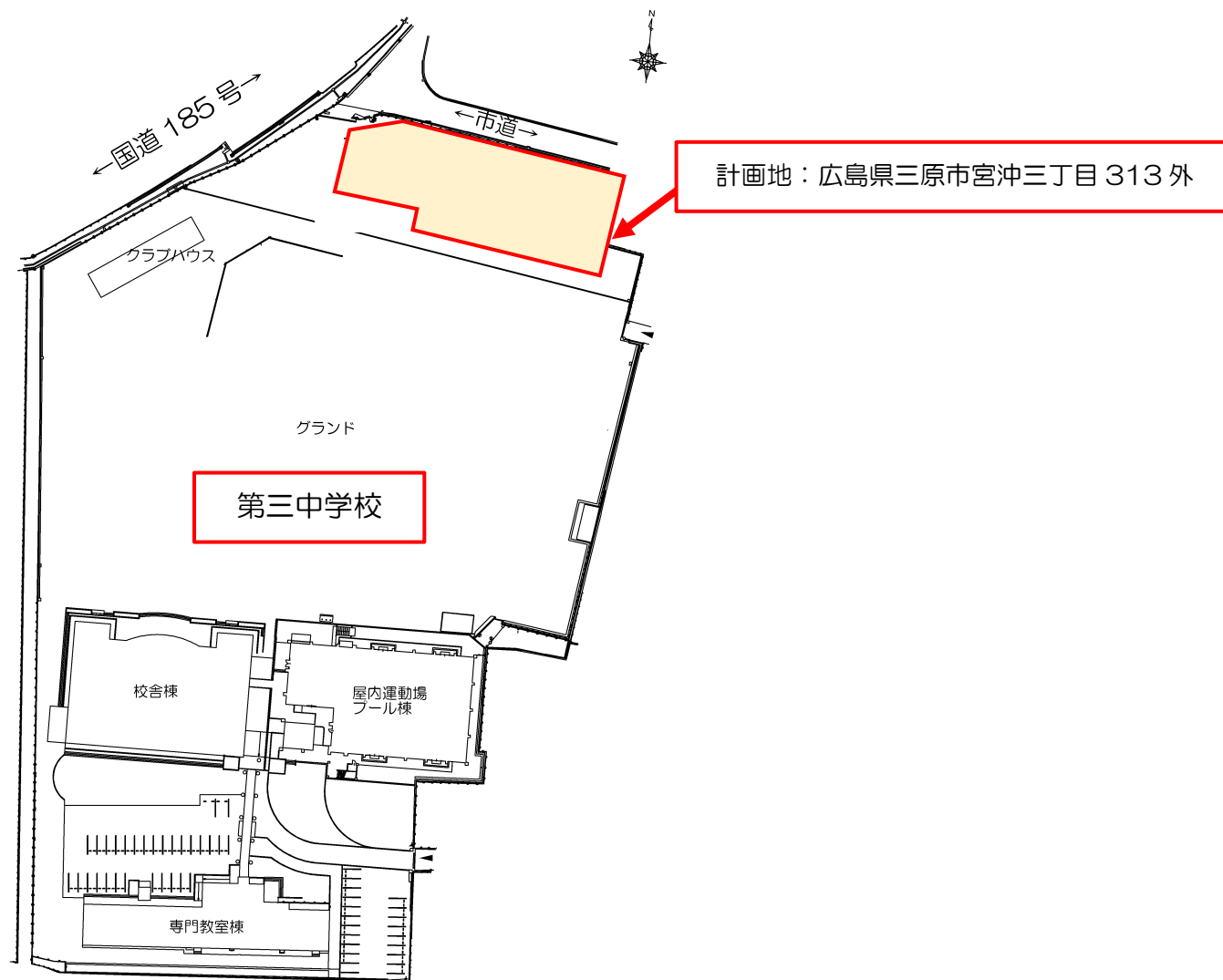
令和4年 月 日

応募登録番号	
--------	--

提出図書チェックリスト ※チェックのないものは受け付けません。

- 提案書の用紙はA1である。
- 提案書は片面横使いである。
- 提案書の右上に登録番号を記載している。
- 提案書の文字や画像が鮮明であることを確認している。
- 提案書の電子データは、JPEG、PDFの両方を保存している。
- 電子データが破損していないことを確認している。

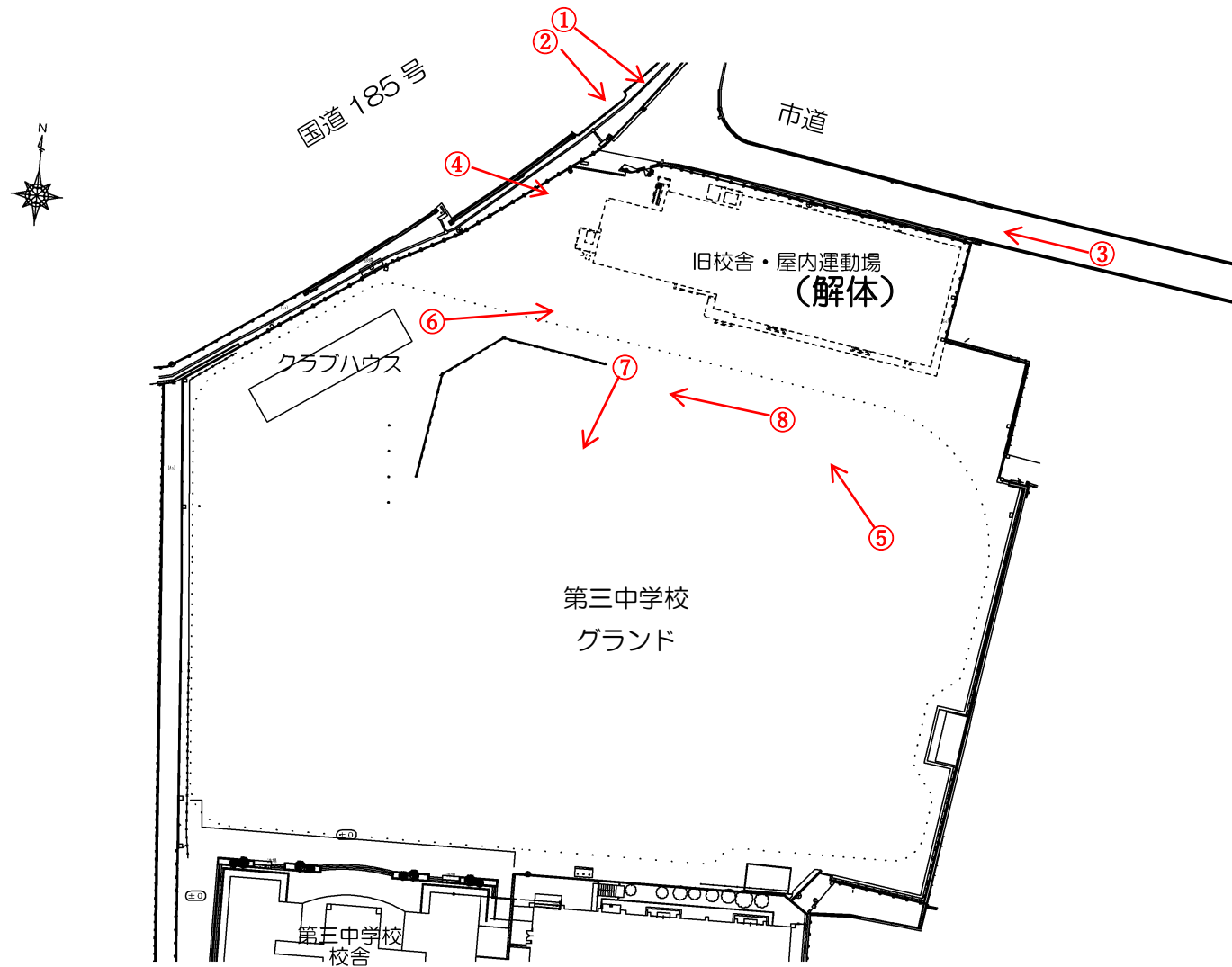
計画地案内図



計画敷地図及び周辺敷地の高低差図



写真撮影位置図（現況）



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑥



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



既存屯所（正面）

写真⑩



既存屯所（資機材収納）

写真⑪



既存屯所（待機室）

写真⑫



既存屯所（ホース乾燥柱）